

## 元寮生・訓練生は今・・・



元気かな～



2021年7月開始の合宿訓練(33期生)に参加し、退所後は福生市内に住んで、時々多摩サポに顔を出しているD君(27歳)に話を聞きました。

小学校から不登校で高校は通信制へ進学したが、進路未決定のまま卒業した。心療内科に通い、精神の手帳も取得。合宿訓練に参加するまでのおよそ7年間、3~4社は合格して働き始めたけれど、短いものだと1日、長くてもA型作業所の2か月、となかなか仕事が続かなかった。家ではYoutubeを観たりネットサーフィンをして、夕方になるとランニングに行ったり、自転車で出かけたり、体を動かすことは好きだったけど、生活リズムは崩れていた。家族との会話はあり、時々時間を決めて親と話をする際、「〇はやればできるのに」と言ってくれた言葉は嬉しかった。「何をやってもダメだね」とかネガティブな声かけをされていたらキツかったと思う。でも、就職に関することや新聞に入っている求人折込チラシが机にそっと置いてあると、無言のプレッシャーを感じた。

住んでいた北関東のサポステに親で行った記憶はあるが、得られるものがないと感じ、利用には至らなかった。母親がそのサポステでもらってきた合宿訓練のチラシは入所する1年前から見て知っていた。訓練に参加しようと思った理由は、そろそろその生活に飽き、暇すぎた。そして、言葉でうまく言えないけれど、自分の内側から活動的になってみようかなという思いが湧いてきて「やってみようかな」と思ったから。普段はやらなかったベランダに出て本を読んだり、参加前の1か月間、訓練中に使うこづかいを貯めようと派遣で働くなど、心境の変化があった。

訓練が始まってひと月、「辞めようかな」と思ったことがあった。結果を焦っていたんだと思う。訓練の内容を悪く言うつもりはないが「こんなことをしていても、給料も出ないし・・・」と思っていた。母親に電話をすると「続けられ？」と言われ、スタッフに相談すると引き止めてくれたり、苦しいと感じることもあったが、先を焦って今をないがしろにするより、今できることを今やるしかない、と霧が晴れた感じがした。炎天下の草むしりや雨の日作業のシール貼りも、淡々とやることを受け入れられるようになった。

(遊遊館だより5月号につづく)

### ◆今月の寮生・訓練生の内訳◆

【年齢】16歳~42歳 【平均年齢】26.5歳  
【状況】4月から復学し、寮から全日制高校に通う寮生A君。寮で制服姿の人を見かけることがないので、とっても新鮮。バイトやフルタイムで就活中の寮生が4~5名いて、みんながんばっています。就活は正解があって、ない、答え合わせができない難問なので、一人でやる作業ではなく、共同作業が効率的です。

### ◇編集後記◇

私、ついに花粉症デビューしました。何のアレルギーもなく、ずっと他人事だったのに。3月、とめどなく流れる鼻水に戸惑い、検査をすると結果は陽性。はああ~ε-(ω;)ついに来たか。1月号で今年の抱負は「動く」と宣言し、いろいろチャレンジしようと思った矢先、花粉症発動。そういうのじゃないんですよね、まったく・・・。ちなみに花粉症は英語で「hay fever」というそう。「Hey! フィーバーしよーぜ!」と陽キャな植物の戯れ♪のイメージでそう呼ぶのかと思ったら、「hay」は干し草という意味でした。フィーバーしているのは私の頭の中だけ。

今月の1枚



センターの横にあるフレンドシップパークにある大きな桜の木が満開でした